

授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科	全担当教員	単位数
90123:バリューチェーンマネジメント(MA)	2019	秋2Q	土3-4	テクノロジー・マネジメント研究科	青山 敦	2

キャンパス

OIC/OIC

授業施設

AN328セミナールーム/JAN328セミナールーム

授業で利用する言語

日本語

授業の概要と方法

バリューチェーンマネジメントとは、競争環境と自社の強みを活かす企業戦略を実現するために、価値創出にかかわるすべての企業のすべてのオペレーションを統合・最適化する概念です。本講義では、オープンイノベーション、モジュール化、オフショア開発製造、サプライチェーンマネジメント、モデルベースデザインなどの重要概念についても学ぶとともに、グループプロジェクトを通じて、モデルベースでバリューチェーンマネジメントを最適設計する方法を学びます。

すべてのビジネスオペレーションは、戦略遂行のために最適設計されなければならない。それが、この講義の基本的考え方です。もう一つの概念は、最適設計はモデルベースで行われるべきという考え方です。

この講義では、実際に存在するバリューチェーンマネジメントの分析から、バリューチェーン及びバリューチェーンマネジメントの設計ポイントは何かを考えます。

仮想的な企業のバリューチェーンをモデルベースで改革する演習を通じて、バリューチェーン最適化についてより理解を深めます。

ビジネスオペレーションをモデルベースで設計する演習を通じて、業務機能の最適設計についてより理解を深めます。

受講生の到達目標

バリューチェーンマネジメントが、企業戦略を実現する戦略的武器であることを理解する。

バリューチェーンマネジメントに影響を与える要素を理解する。

バリューチェーンマネジメントをモデルベースで設計する方法を身につける。

事前に履修しておくことが望まれる科目

特にありません。

授業スケジュール

授業回数/ 担当教員（複数担当の場合）	テーマ
	キーワード・文献・補足事項等
1~4	バリューチェーンマネジメントとは バリューチェーンマネジメントとは何か、企業の戦略や事業環境との関連、モデルベースでのバリューチェーン改革、バリューチェーンの設計要素、関連する重要概念（オープンイノベーション、モジュール化、オフショア開発製造）⇒実在する企業（社会人学生は所属企業を選んでも良い）のバリューチェーンマネジメント分析
5~6	バリューチェーンマネジメント改革の実際 バリューチェーンマネジメントコンサルタントによるモデルベースでのバリューチェーン改革の概念・方法・実務（ゲストレクチャ）
7~10	モデルベースでのバリューチェーン分析とバリューチェーンマネジメント改革 実在する企業のバリューチェーンマネジメント分析の発表と分析 仮想企業「浜松家具」をケースとするグループプロジェクト
11~16	モデルベースでの業務機能設計 業務機能のAS-ISもモデル作成及びTO-BEモデル設計による業務機能設計のグループプロジェクト（社会人学生は所属企業の業務を対象にしても良い）

授業外学習の指示

個人レポートの剽窃に対しては非常に厳しい態度でのぞみます。個人レポート作成に当たって、他の受講生の個人レポートを写した部分があったと私が判断した場合、成績評価を大幅に減点します。

講義形式は最小限に留めて、グループプロジェクトの発表とディスカッションを中心にインタラクティブに行います。したがって、授業時間外にグループプロジェクトの発表準備が必要です。

グループワーク演習がほとんどですので、他のグループメンバーとの高いレベルのコミュニケーションが要求されます。

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準等

定期試験(筆記)	0	
レポート試験 (統一締切日を締切とするレポート)	0	
上記以外の試験・レポート、平常 点評価 (日常的な授業における取組状況 の評価)	100	質問、発言等授業への参加、レポート

成績評価方法(備考)

グループワークへの参加状況、グループワークのレポートが主な評価になります。

受講および研究に関するアドバイス

本講義で得られる企画構想力、プレゼンテーション力、ディスカッション力、質問力は、就職活動や修士論文研究にも役立ちます。グループプロジェクトで学習するモデルベースの業務改革は、コンサルティングで使われる手法ですので、コンサルタント志望の学生にも役立ちます。

教科書

教科書(備考)

参考書

書名	著者	出版社	ISBNコード	備考
統合学入門	仲勇治	工業調査会	4-7693-6170-x	
サプライチェーンエクセレンス				
SCOR入門				
プラットフォームビジネス最前線				

参考書(備考)

参考になるwwwページ

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法

manaba+R,学生との直接対話,その他(教員より別途指示)

備考

大阪茨木キャンパス、土曜日の講義です。